

令和元年1月29日(水)
福島県観光交流局県産品振興戦略課
担当 主幹兼副課長 十二所 謙
電話 024-521-7296 (内線 2981)

小山薫堂氏・眞鍋かをり氏など著名な審査委員が参加！

ふくしまベストデザインコンペティション 2019-20 最終審査会、表彰式のご案内

県では、県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、消費者に魅力が伝わる優れたデザインの県産品を表彰するコンテスト『ふくしまベストデザインコンペティション』を開催しております。

応募総数147商品のエントリーの中から、一次審査を通過した11商品を対象として、下記のとおり、最終審査会、表彰式を実施しますので、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

記

1 日時

令和2年2月3日(月)

〈最終審査会〉13:30~14:45

〈表彰式〉15:20~16:00

2 場所

福島県自治会館3階大会議室(福島市中町8-2)

3 出席者

- ・受賞対象事業者11者(予定)
- ・福島県知事 内堀雅雄
- ・ふくしまベストデザインコンペティション審査委員8名
小山薫堂(放送作家、脚本家、京都造形芸術大学副学長)
眞鍋かをり(タレント)
国井美果(コピーライター、クリエイティブディレクター)
鈴木正晴((株)日本百貨店代表取締役)
鈴木順之(JUNKO KOSHINO(株)代表取締役常務)
菊地敦己(グラフィックデザイナー、東北芸術工科大学客員教授)
高荒昌展((公財)福島県観光物産交流協会理事長)
宮村安治(福島県観光交流局長)



放送作家・脚本家・
京都造形芸術大学副学長
小山 薫堂



タレント
眞鍋かをり



コピーライター・
クリエイティブディレクター
国井 美果



(株)日本百貨店 代表取締役
鈴木 正晴



JUNKO KOSHINO(株)
代表取締役常務
鈴木 順之



(株)菊地敦己事務所 代表
グラフィックデザイナー・
アートディレクター
菊地 敦己

※審査委員略歴は別紙1参照

4 次第（予定）

〈最終審査会〉

- (1) 審査委員長あいさつ（小山薫堂委員長）
- (2) 事務局説明
- (3) 商品審査

〈表彰式〉

- (1) 講評・結果発表（小山薫堂委員長）
- (2) 表彰（各賞について審査委員及び知事より授与、受賞者からのコメント等あり）
- (3) 知事あいさつ
- (4) フォトセッション

5 その他

- ・ 最終審査会の取材については、審査会冒頭から商品審査開始までとします。
- ・ 最終審査会の頭取りを希望されるプレス関係者は、当日13：15までに会場前に集合してください。
- ・ 表彰式会場後方に、審査対象商品を陳列する予定です。審査中、表彰式開始前までに物取りをしていただくことが可能です。
- ・ 表彰式終了後、審査委員等へのぶら下がり取材を可としますが、表彰式の終了時間が延びた場合でも16：15までとさせていただきます。

〈参考〉ふくしまベストデザインコンペティションについて

(1) 目的

県産品のデザインコンテストを実施し、優れたデザインをモデルケースとして選出することで、「パッケージ」「ネーミング」「商品企画」へのデザインの活用を普及・啓発する。また、優れたデザインの商品は専用ロゴマークを使用できるものとし、県産品のブランド力強化を図る。

(2) 表彰

①部門

パッケージデザイン、キャッチコピー・ネーミング、プロダクトデザインの3部門

②表彰

グランプリ 1者 ※各部門のゴールドメダルの中から選出する。

ゴールド、シルバー、ブロンズ 各部門1者

ロングライフデザイン賞 1者

審査委員特別賞 1者

(3) 対象

〈対象商品〉

①生産、製造または加工の最終段階を県内で行っている商品。

②主な原材料が福島県産であって、県外の事業者等により製造された場合は、県内に主たる事業所を有する者が販売を行っている商品。

〈対象者〉

対象商品①の生産、製造又は最終加工を行う事業者で原則として県内に主たる事業所を有する者、若しくは②の販売を行う事業者。

ふくしまベストデザインコンペティション審査委員略歴

①小山薫堂（こやまくんどう）



放送作家、脚本家
京都造形芸術大学副学長

日本大学芸術学部放送学科在籍中に放送作家としての活動を開始。
「料理の鉄人」「カノッサの屈辱」など斬新なテレビ番組を数多く企画。
映画「おくりびと」で第32回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、
第81回米アカデミー賞外国語部門賞を獲得。
筆活動の他、地域・企業のプロジェクトアドバイザーなどを務める。
「くまモン」の生みの親でもある。

②眞鍋かをり（まなべかをり）



タレント

横浜国立大学卒業。大学在学中からタレント活動を始める。
TV、CM、イベント、執筆などマルチに活躍。
C.P.Aチーフプロフェッショナルの資格を持つ。

③国井 美果（くにいみか）



コピーライター、クリエイティブディレクター

社内外をつなぐ様々な言葉やアイデアで、企業活動に関わっている。
主な仕事に、資生堂コーポレートメッセージ「一瞬も一生も美しく」、
資生堂マキアージュ「レディにしあがれ」、伊藤忠商事コーポレートメッ
セージ「ひとりの商人、無数の使命」、同社企業広告シリーズ、スノー
ピーミュージアム、フェルメール展など多数。
ADC賞、TCC賞、日経広告賞大賞など受賞多数。

④鈴木 正晴（すずき まさはる）



株式会社日本百貨店 代表取締役

東京大学教育学部卒業後、伊藤忠商事株式会社に入社。日本のスグレモノを国内外に発信するため、2006年に独立。
メイドインジャパンの雑貨・食品を扱う「日本百貨店」、ニッポンの食のテーマパーク「日本百貨店しょくひんかん」をオープンし、現在は東京駅構内や飲食店「日本百貨店さかば」など10店舗を運営。
作り手と使い手の出会いの場を提供し、ニッポンのローカルの生産者と逸品を都心で発信し続ける。

⑤鈴木 順之（すずき よりゆき）



JUNKO KOSHINO株式会社 代表取締役常務

バッグ・アクセサリデザインやグラフィックデザイン、空間デザイン、ファッションショー総合演出や国内での商品開発・ブランド構築、海外での事業展開を手掛ける。

明治大学商学部にてファッションビジネス分野の講義を行う。

2016年度より「FUKUSHIMA PRIDE by JUNKO KOSHINO」として福島県工芸品を現代のライフスタイルにリデザインするプロジェクトに携わる。

⑥菊地 敦己（きくち あつき）



グラフィックデザイナー・アートディレクター
東北芸術工科大学客員教授。

東京都町田市出身。武蔵野美術大学彫刻学科中退。

総合的なビジュアルのブランディングのほか、アートプロデュース、プロダクトデザインやカフェのプロデュースなども手がける。

2013年 第44回講談社出版文化賞ブックデザイン賞、2017年 日本パッケージデザイン大賞2017大賞など受賞歴多数。

※（公財）福島県観光物産交流協会理事長、福島県観光交流局長の略歴は省略します。